

平成29年度 通年 授業アンケート報告書

一般教科 教員名 武田 充啓 担当科目名 国語 I 1学年・全クラス

◎各クラス共通の主な意見（アクティブラーニング AL について、授業全般について）を以下に記す。

〈良い点〉…新鮮でよかった。自主的なやる気が出る。コミュニケーションがとれる。発言しやすい。授業が受けやすい。視野が広がる。わからない問題も一緒に考えることができる。普段話せない人と話せた。自分にはなかった発想が出てくる。意見交換から新しい回答を見出せる。自分で考え、それをクラスで共有することに抵抗がなくなった。他人の意見や考え方がわかる。自分の意見を主張できる良い場になっている。自分の意見を言うのと相手の意見を聞くのが大事だと学んだ。友達と話しながらできるので楽しく取り組みやすかった。教員による解説がしっかりあってわかりやすかった。毎回課題が出たので授業をよく理解できた。

〈悪い点〉…教室の後ろまで先生の目が届かない。プリントが多い。もっと時間がほしい。じっくり考えたかった。グループになると授業に関係のない話が出てくる。グループの分け方。リーダー的な人がいないとまとまらない。静かな人、やらない人がいる。人任せの人、やる気のない人が入るとしんどい。メンバーで進度が変わる。問いがわかりにくい。答えがわからない。クラスに活気がなかった。うちのクラスがうるさい点。文系が嫌いな人には苦しい。あまり好きではない。

〈改善提案〉…みんなで取り組む姿勢を大事にする。GWでももっと指名することで集中できる。作文をなくす。板書のスピードが速い。もっと楽しい授業にしてほしい。毎回異なるメンバーでおこなう。ワークシートは個人で提出し、話し合いやまとめだけグループにしてほしい。グループの人数を増やしてほしい。身近な例えを含めながら読解していくのもアリ。毎回一人一回は発表させる。意見発表。もっとプリントで授業をしてほしい。もっと AL を増やしてほしい。メンバーの役割を決める。他のグループの意見をもっと掘り下げてほしい。締切を当日までとする。答えがほしい。板書後の説明は一挙ではなく細切れ的に。

〈全般〉…予習プリント（あってよかった。意味調べだけでよい）。丁寧でわかりやすい。進め方、進める速さが適切。イメージがつかみにくかった。作文を書く時間が少ない。宿題にしても良いかたちにしてほしい。要約の課題（賛否あり）。プリントの解答例は単元終了ごとに貼り出してほしい。提出課題に添削をしてほしい。板書の書き方がわかりやすくテスト前助かった。板書の量が多い。板書のスピードが速い。板書をどう写せばよいのかわからない。漢字テストは良い（「読み」もテストに入れてほしい）。漢字テストは週1でもよい。両先生（現代文・古典）ともクセが強い。もう少し明るい雰囲気にしてほしい。試験勉強の仕方がわからない、アドバイスがほしい。AL だけでなく講義・解説時間も増やしてほしい。古典とで形式を近づけてほしい。

	ALの良い点	ALの悪い点	改善提案	授業全般
M（有効回答 31名 無効回答 10名 欠席 3名 計 44名）	30名が記述	12名	17名	14名
E（有効回答 31名 無効回答 13名 欠席 1名 計 45名）	27名	17名	13名	13名
S（有効回答 15名 無効回答 27名 欠席 0名 計 42名）	14名	5名	5名	2名
I（有効回答 40名 無効回答 2名 欠席 1名 計 43名）	37名	24名	20名	18名
C（有効回答 38名 無効回答 2名 欠席 4名 計 44名）	35名	24名	23名	15名

（M・S・I・C 学科 2018/01 アンケート実施、E 学科 2018/02 アンケート実施）

◎以上の意見をふまえての反省と今後の授業についての考えを以下に記す。

AL やグループワークの長所は多くの学生が理解している。今年度は、昨年度の反省をふまえて、すべてを AL でやるのではなく、適宜講義的な解説やまとめを取り入れた組み合わせ方式としたため、ごく僅かな例外を除いて否定的な意見はなかった。この方式の場合、授業中に眠る学生はやはり圧倒的に少ない。しかし今年度の AL でもまだまだ工夫が限られており、改善の余地は大いにある。班の決め方、課題の量や質の設定、解答の示し方やタイミングについても同様に改善していきたい。アンケートに特に記述はなかったが、短歌を作成して互いに評価し、選歌し合う授業などは、それなりの効果や評価は得られたと思っている。